



福島県立梁川高等学校
平成31年4月17日
校長だより
知性 誠実 責任
第3号

■ 学年オリエンテーション

4月10日（水）には2年生と3年生、4月11日（木）には1年生で学年オリエンテーションが行われました。オリエンテーションとは方向づけのことで、学校や会社などで、新しく入った者に対して、組織の仕組みやルール、学習や仕事の進め方などについて説明することです。新しい環境などに人を順応させるための教育的な指導にあたります。

どの学年も、校長先生のお話、教務主任のお話、生徒指導部長のお話、進路指導部長のお話、学年からという順序で進みました。校長からは、各学年ごとに以下の話をしました。

第1学年

みなさんは、高校生になりたかったですか。それとも、もっと中学生でいたかったですか。皆さんそれぞれだと思いますが、これからは先のことを考えたほうがいいと思います。

自分は、どんな高校生になりたいか。どんな高校生活を送りたいか。よく夢とか目標とかめあてというでしょう。人間は、何か一つあると、意外と他のこともうまくいくものです。大切なことは、その一つを何にするかです。一番がんばる、努力することを決めるのです。

例えば、勉強をがんばるという人は、3年間ずっと成績トップを続ける。いやいやそれはむずかしいという人は、5番以内に必ず入るでもいいでしょう。あるいは、野球部でがんばるという人は、3年間まずはずっと続けることです。どんなことでもずっと続けるのは簡単なことではありません。でも、最後まで続けると、自分の財産になります。そして、大人になってから3年間がんばったことが生きてきます。まずは、自分でがんばることを一つ決めてみてください。



第2学年

私の高校時代の話をしていきます。私は、高校1年生の夏くらいから勉強ができなくなり、部活動も11月くらいからサボるようになりました。あの頃は高校生活に目標がありませんでした。ただ何となく毎日高校に行っているだけでした。

2年生になり、学年が一つ上がったことと、あと1年で3年生になってしまうという焦りから、少しはがんばるようになりました。相変わらず勉強はできませんでしたが、部活動のほうでは、6月の大会でたまたま勝つことができました。すると、急に「これはいけるんじゃないか」と思うようになり、部活動はそれまでよりも一生懸命やるようになりました。たまたま部活動のほうで勝つことができやる気を出したので何とかなりましたが、あのまま勝てなかったらどうなっていたかわかりません。

誰でも高校3年生になると、自分の将来のことを考えるようになります。大切なのは、その前の高校2年生として過ごす1年間だと思っています。ここが分かれ道です。ぜひいいほうの道を選んでください。

第3学年

では、早速面接の練習をします。あなたが通う梁川高校のいいところはどんなところですか。3年生なのでちょっと聞いてみました。

私の高校時代の話をしてします。私は高校3年生になり、とても焦っていました。部活動をがんばっていた3年生の6月まではよかったのですが、引退して部活動がなくなると、急に焦ってきました。実は、何も目標がなかったのです。将来何になりたいとか、これからどうしたいとか、具体的に考えないままに3年生の6月を迎えてしまったのです。今まで考えてこなかった人に、急に考えろと言っても、なかなか考えられないものです。高校時代の私はそうでした。

皆さんは、高校3年生になりました。毎日毎日考えた方がいいです。どんな職業に就きたいか。どんな大人になりたいか。どんな生き方をしたいか。毎日毎日考えてください。いくら考えても、それで十分ということはありません。ぜひ、ここにいる3年生全員が、考えに考え抜いて自分の進路を決めてくれたらと思います。

また、各学年に共通することとして、次の話をしました。

もし、皆さんが悩んだり、苦しんだりすることがあったら、誰かに相談した方がいいと思います。高校時代の私も、誰かに相談できていたら、もう少し楽だったと思います。では誰に相談するのがいいかという、梁高の先生方がいいと思います。なぜなら、皆さんよりも先に生まれていろいろなことを経験しているからです。今までたくさんの高校生を見てきているからです。梁高の先生方は、いつでも皆さんのすぐそばにいます。

教務主任、生徒指導部長、進路指導部長、学年主任の話も、それぞれ大切な内容で、方向づけにふさわしいものでした。生徒の真剣な表情が印象的でした。

■ スクールカウンセラー

梁川高校には、「スクールカウンセラー」の先生がいます。今年度で5年目になる佐藤順子先生です。専門的な立場から相談にのっていただけますのでご活用ください。

- ◆ 相談日 原則 火曜日
- ◆ 相談時間 9:45～14:25 (4月～7月)
10:45～15:25 (8月～3月)
- ◆ 申込先 担任または保健室まで



■ 進路アドバイザー

梁川高校には、就職を希望する生徒を支援するために、「進路アドバイザー」がいます。5年目を迎える金田勲（かねだいさお）さんです。生徒の就職希望状況を把握した上で、求人を開拓し、就職に関する情報収集や提供を行います。また、面接指導や進路講話を実施します。若年者の就職支援に関するプロともいえるべき方です。梁川高校は、生徒の希望進路100%達成を目指します。

毎朝昇降口前に立ち、登校してくる生徒たちに「おはようございます」とあいさつをしています。すると、どの生徒もあいさつを返してくれます。朝から清々しい気持ちになれる時間です。学校生活を爽やかなあいさつからスタートさせ、一日一日充実したものにするためにも、朝のあいさつは欠かせないものです。